

プロフェッショナル・フィデューシャリーとは何ですか？

消費者用ガイド

プロフェッショナル・フィデューシャリーとは、他人の利益のために財産や権限を委託された個人のことです。プロフェッショナル・フィデューシャリーは、高齢者や自立生活が困難な人々など影響を受けやすい集団を支援して、クライアントに対して全体的なケアを提供する中立的でなおかつ客観的立場にいます。個人が無能力または死亡した場合、プロフェッショナル・フィデューシャリーが遺産の管理を引き受けることができます。プロフェッショナル・フィデューシャリーは、健全な財政、医療、日常的な意思決定において支援を必要とする自立した創造性に富んだ人々にもサービスを提供することができます。

プロフェッショナル・フィデューシャリーはどのようなサービスを提供できますか？

- 銀行や請求書の支払い
- キャッシュフローの管理
- 日々のケアや住宅需要
- 不動産管理と事業
- フィデューシャリー会計
- 税金の準備と支払い
- 所帯の維持費とメンテナンス

加えて、以下を含む一定のサービスの管理：

- 医療の必要性
- 資産と分配
- 保険の必要性
- 投資
- 国民の受益
- 不動産と個人財産

プロフェッショナル・フィデューシャリーは、すべての分野において専門知識があるわけではなく、信託や財産の費用負担で一部の業務を対応するために他の専門家を雇うこともあります。しかしながら、プロフェッショナル・フィデューシャリーは、提供するすべてのサービスのマネージャーです。プロフェッショナル・フィデューシャリーが他の専門家を雇った場合、適切で十分なサービスを提供する責任は、プロフェッショナル・フィデューシャリーにあり、また顧客または裁判所の指示に従いながら最終的な意思決定者になります。

覚えておくこと

プロフェッショナル・フィデューシャリーが、ライセンスを持たずに活動することは犯罪です。

プロフェッショナル・フィデューシャリーをなぜ雇うのですか？

- あなたには、世話をしてくれるか家族や友人がいません。
- あなたは、家族や友人の負担になるようなことは避けたいです。
- あなたの信頼できる友人や家族であっても、適切なスキルも持っていなかったり、支援する意思がなかったり、あるいは遠方に住んでいて助けてあげられないかもしれません。
- 親戚の間に対立があるので、中立的な第三者を選ぶのが賢明です。
- 人生のどのステージにしようと、あなたの代弁者として行動するために経験豊富で認定された専門家を探しています。

プロフェッショナル・フィデューシャリー事務局は何をしますか？

州のプロフェッショナル・フィデューシャリー事務局（以下「事務局」）は、プロフェッショナル・フィデューシャリーのライセンスおよび規制を管理して、消費者問題省の下で2007年に設立されました。ライセンスの付与、規制および懲戒処分を行う上で事務局が最優先していることは、公衆の保護です。事務局は、消費者からの苦情をレビューして調査する責任があり、また自らも潜在的なライセンシーの不正行為に対しても調査することができます。

2009年1月の時点では、家族以外の者に対してフィデューシャリーとして行動する者は、事務局からのライセンスを取得しなくてはなりません。個人が有効なプロフェッショナル・フィデューシャリーのライセンスを保有しているか、または法律によってライセンスを免除されていない限り、裁判所が家族以外の者に対してプロフェッショナル・フィデューシャリーとしての行動を任命することはできません。

(事務局から規制された)フィデューシャリーにはどのような種類がありますか？

信託管理

信託管理者として職務を行うプロフェッショナル・フィデューシャリーには、信託文書に記載された信託条件を遂行する責任があります。信託管理者は、信託を設定した者が指名します。委託者または「信託設定者」は、ご自身が無能力または死亡した場合に備えて、家族、友人またはプロフェッショナル・フィデューシャリーを信託管理者として指名することができます。場合によっては、信託管理者がいない、または信託に信託者が指名されていないことがあります。このような場合、裁判所が誰かを信託管理者として任命することがあります。法律、または税務上の理由から、プロフェッショナル・フィデューシャリーを信託管理者に任命することがあります。

後見人

後見人として職務に就くプロフェッショナル・フィデューシャリーは、未成年者（18歳未満の者）の財産および身上保護に関する管理を行います。遺産計画文書（これらの文書の作成には弁護士に相談すること）では未成年後継人として特定の者を指名できる場合でも、後見人は、後見人関係を構築するにあたって裁判所の許可を取得しなくてはなりません。

資産保全者

資産保全者として職務に就くプロフェッショナル・フィデューシャリーは、自身および/または財産に関して、安全かつ健全な意思決定を行うことができない、またはその意思を伝えることができない個人、あるいは詐欺や不当な影響を受けるようになった個人の財産および身上保護に関する管理を行います。遺産計画文書（これらの文書の作成には弁護士に相談すること）では資産保全者として特定の者を指名できる場合でも、資産保全者は、資産保全者との関係を構築するにあたって裁判所の許可を取得しなくてはなりません。

永続的委任状の基づく代理人

永続的委任状 (POA) に基づく代理人として職務に就くプロフェッショナル・フィデューシャリーは、あなたが無能力となった場合、あなたの財務および/または医療に関する事柄に関して代理人として行動することを委任された個人のことを指します。あなたの医療に関する内容をあなたの代わりに発言する者と財務決定を行う者を別々に選任したい場合、財務および医療に関する委任状を別々に作成することができます。あなたのPOAは、医療上の意思決定、公益、個人の退職口座や社会保障費など、代理人に管理させたい具合的な特定の決定事項を記載する必要があります。

相続遺産の人格代理人

相続遺産の人格代理人として職務に就くプロフェッショナル・フィデューシャリーは、ご逝去後に遺産の管理および分配を行います。この個人は、あなたの遺言書または遺産計画文書（弁護士に相談すること）に指名される場合があり、またカリフォルニア州の遺産検認法に従って、遺産の資産価値に応じて、裁判所からの正式な任命が必要となる場合があります。

どのようにして消費者は自分自身を守ることができますか？

プロフェッショナル・フィデューシャリーを雇う前に、そのプロフェッショナル・フィデューシャリーがライセンス保有者か確認してください。ライセンスを確認するには、事務局のウェブサイト www.fiduciary.ca.gov を参照してください。ウェブサイトでは、フィデューシャリーの指名、ライセンス番号、都市または郡で検索してください。ウェブサイトでは、公開されている懲戒情報も閲覧することができます。さらに、下記のポイントにも従ってください：

- 遺産、資金、医療および終末期のご自身の意思を書き出すこと。これは、遺産計画の作成を行い、必要な文書を完成させるために、弁護士と相談することを意味するかもしれません。
- ご自身のニーズおよびご家族のニーズに合わせて事前に計画をすること。
- 家族、友人または専門家からの紹介を検討すること。

